

鹿行政懇

# 「1人で考えず連携を」

## 川内氏 介護の心構え説く

鹿行政経懇話会の3月例会が22日、神栖市大野原のアトンプレスホテルで開かれ、介護支援に取り組むNPO法人「となりのかいこ」代表理事の川内潤氏が「認知症でも一人暮らしを可能にする方法」と題して講演した。認知症と介護の愛情を示し「家族の介護は1人で考え込まず、専門職と連携することが大事」と心構



認知症になった家族の介護について講演する川内潤氏。神栖市大野原のアトンプレスホテル

えを説いた。

川内氏は、認知症を発症した要介護者の1人暮らしについて、自身の祖母を例に紹介した。デイサービスなどの介護サービスを活用しつつ、遠方に住む家族の訪問日を無理のない範囲で調整し、遠距離介護を実践した。さまざま介護サービスを示した上で「1人に任せない介護体制をつくることが大切」と説明した。

介護者や介護経験者を対象にした同法人の意識調査によると、認知症になった家族の介護は家族ですべきと考える人の割合が6割を超えた。介護を優先した結果、仕事に支障を来して離職するケースもあるという。川内氏は、家族に認知症の疑いがあった場合、地域包括センターへの相談を推奨し、「(相談すること)で、仕事への影響を最

小限にして介護との両立が実現できる」と述べた。

(藤崎徹)

### 鹿行政懇出席者

(順不同、敬称略)

- 山口伸一(鹿嶋市長 篠家洋三(鹿嶋市議会議長) 岡村弘志(鹿島埠頭代表取締役社長) 菅谷(鹿島臨海通運取締役社長) 栗田茂樹(鹿島臨海鉄道代表取締役社長) 石田進(神栖市長) 野口雅利(幸武建設代表取締役社長) 野口貴久子(幸武都市開発アトンプレスホテル代表取締役社長) 石津正美(常総開発工業代表取締役) 柳原勝男(柳原商店代表取締役) 高橋修一(高橋建設代表取締役) 鈴木周也(行方市長) 岡田晴雄(行方市議会議長) 岸田一夫(鉾田市長) 【掲載は会員名】

**防犯**

県内警察署発信の防犯情報を探知します。一部掲載されない情報もあります。

メール登録は表示されるアドレスにアドレスを返信メールを送信



◆結城署 20日21日、結城市結城で、乗用車(トヨタ・プリウス)が盗まれました。(22日午後2時5分発)